



▲樋爪氏の墓と伝えられる五輪塔

◀墓がある三峰神社

ふあいの 水い 広場



この写真(上)は、樋爪五郎季衡(すえひら)とその子・経衡(つねひら)の墓と伝えられています。樋爪氏は、奥州藤原氏の一族で、この親子は文治5年(一一八九年)、源頼朝が藤原氏を討討した際、捕虜として捕らえられ、宇都宮へ連れてこられました。故郷へ逃げ帰ろうと上河原まで来たが、追手に捕らわれ殺害されたといわれています。

墓は、三峰神社の社にあり、1・5・9月の19日には例祭で扉が開けられます。この五輪塔は兄、俊衡(としひら)、弟、季衡という説もあります。(昭和33年7月21日、市指定史跡)。



ひづめ 「樋爪氏の墓」

大通り4丁目 斉藤五一さん

文化財ウォッチング